

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 10 月 6 日 (2011.10.6)

【公開番号】特開 2010-50756 (P2010-50756A)

【公開日】平成 22 年 3 月 4 日 (2010.3.4)

【年通号数】公開・登録公報 2010-009

【出願番号】特願 2008-213363 (P2008-213363)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/19 (2006.01)

H 0 4 N 1/10 (2006.01)

H 0 4 N 1/107 (2006.01)

H 0 4 N 1/407 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 1/00 C

H 0 4 N 1/04 1 0 3 E

H 0 4 N 1/10

H 0 4 N 1/40 1 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 22 日 (2011.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

読取対象の原稿からの反射光を受光する読取センサにより読み取られた読取画像を処理する画像処理装置であって、

上記読取センサを有する読取装置の原稿台上に載置されているブック原稿が、当該読取センサにより読み取られることで得られた読取画像を取得する取得手段と；

上記取得手段により取得された読取画像に基づいて、上記ブック原稿の綴じ目の方向を判定する判定手段と；

上記判定手段により判定された上記綴じ目の方向に応じて、上記ブック原稿の上記綴じ目の近傍部において上記読取センサによる受光量が多くなる領域を特定する特定手段と；

上記ブック原稿の読取画像における、上記特定手段により特定された領域の輝度が低くなるように、当該領域の画像を補正する補正手段と；

を有すること特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

上記補正手段は、上記ブック原稿の読取画像における上記特定手段により特定された領域の輝度が低くなるように、当該領域の画像を補正し、且つ、当該読取画像における上記ブック原稿の綴じ目に対応する綴じ目領域の輝度が高くなるように、当該綴じ目領域の画像を補正することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、

上記読取装置は、原稿に反射させるための光を発光する光源を備え、

上記特定手段は、上記ブック原稿の綴じ目に対する上記読取センサと上記光源との位置

に応じて、上記読取センサによる受光量が多くなる上記領域を特定することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 4】

読取対象の原稿からの反射光を受光する読取センサにより読み取られた読取画像を処理する画像処理方法であって、

上記読取センサを有する読取装置の原稿台上に載置されているブック原稿が、当該読取センサにより読み取られることで得られた読取画像を取得する取得工程と；

上記取得工程において取得された読取画像に基づいて、上記ブック原稿の綴じ目の方向を判定する判定工程と；

上記判定工程において判定された上記綴じ目の方向に応じて、上記ブック原稿の上記綴じ目の近傍部において上記読取センサによる受光量が多くなる領域を特定する特定工程と；

上記ブック原稿の読取画像における、上記特定工程において特定された領域の輝度が低くなるように、当該領域の画像を補正する補正工程と；

を有すること特徴とする画像処理方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の画像処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置、画像処理方法、およびプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、読取対象の原稿からの反射光を受光する読取センサにより読み取られた読取画像を処理する画像処理装置、画像処理方法、およびプログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

上記の課題を鑑みて本発明は、ブック原稿の読取画像における、ブック原稿の綴じ目の近傍部において読取センサによる受光量が多くなる領域を、適切に補正することができる画像処理装置、画像処理方法、およびプログラムを提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

本発明の画像処理装置は、読取対象の原稿からの反射光を受光する読取センサにより読

み取られた読取画像を処理する画像処理装置であって、上記読取センサを有する読取装置の原稿台上に載置されているブック原稿が、当該読取センサにより読み取られることで得られた読取画像を取得する取得手段と、上記取得手段により取得された読取画像に基づいて、上記ブック原稿の綴じ目の方向を判定する判定手段と、上記判定手段により判定された上記綴じ目の方向に応じて、上記ブック原稿の上記綴じ目の近傍部において上記読取センサによる受光量が多くなる領域を特定する特定手段と、上記ブック原稿の読取画像における、上記特定手段により特定された領域の輝度が低くなるように、当該領域の画像を補正する補正手段とを有すること特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

本発明によれば、ブック原稿の読取画像における、ブック原稿の綴じ目の近傍部において読取センサによる受光量が多くなる領域を、適切に補正することができる。